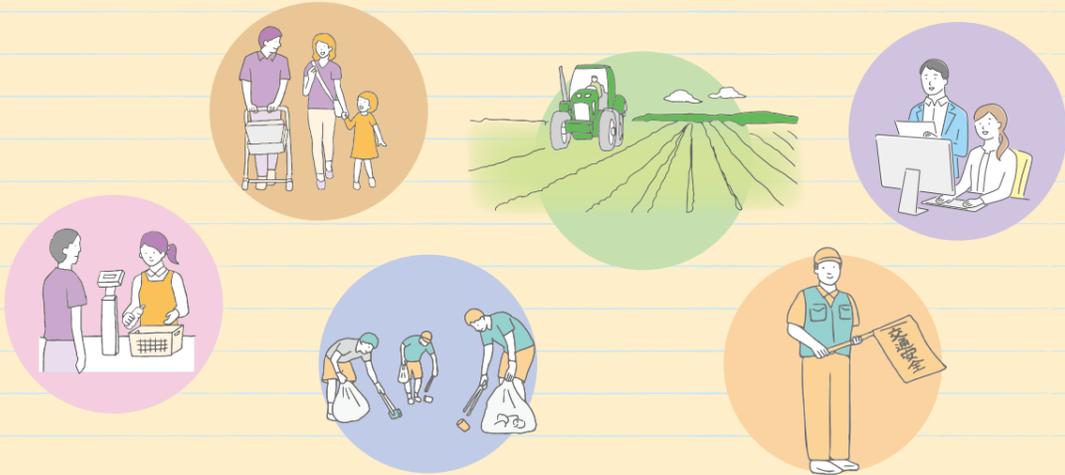
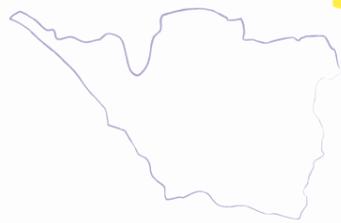


6つのまちづくり

- 1 町民に優しいまちづくり
- 2 安全安心して暮らせるまちづくり
- 3 生き活きと働けるまちづくり
- 4 人と文化を育むまちづくり
- 5 住民主体のまちづくり
- 6 効率的な行財政運営によるまちづくり



6つのまちづくり

1

町民に優しい まちづくり



保健・医療・介護・福祉の連携の強化を図ることで、住み慣れたまちで、みんなが健康に安心して暮らせるまちをつくりまします。

健康な心と体づくり、保健・医療・福祉・介護の連携の強化と充実

健康に対する意識の啓発や健康診査の実施など、健康づくりの支援体制の充実を図るとともに、医療と介護の連携や地域の見守り・支え合いの体制づくりに取り組んでいます。

地域で暮らせる高齢者福祉の充実

高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、在宅高齢者の健康づくりや、孤立感の解消、介護予防などの目的に合わせたサービスを実施しています。また、必要な介護・福祉サービスの充実と、介護を担う家庭の負担軽減のための支援に取り組んでいます。

自立を支援する障害者福祉の推進

障害のある人が住み慣れた地域で自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、相談支援サービ

子育ての支援、児童福祉の充実と次世代育成

スの向上と専門人材の確保・育成に努めています。また、地域活動支援センターの設置に向けた取り組みを促進し、生産活動の機会の提供と社会との交流を図っています。

協力し助け合う地域福祉の推進

住民みんなが地域のボランティアとして関わり、高齢者や障害のある人が快適に過ごせるように、幼少期から福祉への関心と理解を高める取り組みを行い、またボランティア育成講座を開催し、知識向上を図っています。

6つのまちづくり

2



安全安心して 暮らせるまちづくり

防災対策の充実と住民を取り巻く
住環境整備の充実を図ることで、快
適に生活できるまちをつくりま

安全安心な環境づくり

さまざまな災害の発生を想定し、
関係機関との連携による総合的な防
災対策の強化に努めるとともに、消
防団組織の充実を図っています。地
域や集落ごとの防災活動が充実し、
災害発生時には円滑な対応が可能と
なるまちづくりに取り組んでいます。

道路交通網の整備

国道305号ホノケ山トンネルが
平成25年11月に開通し、町内の道路
網は大きく発達しました。車両や歩
行者の利便性を高めるため、さらな
る道路の舗装や歩道などの整備の充
実を図るとともに、障害者や高齢者
が安心して通行できる道路や歩道の
整備に取り組んでいます。

上下水道の整備

上下水道においては、安全で安定し
た水の供給を図るため、維持管理と
計画的な修繕整備を行っています。

6つのまちづくり

3



活き活きと働ける まちづくり

地域間の連携を活かした地域資源
の有効利用と新しいアイデアの創造
や人材の育成、雇用の確保により、
活力あふれるまちをつくりま

農林水産業の振興

農林水産業の基盤整備の充実を図
り生産効率の向上に努めるとともに、
担い手の育成・確保や効率的な経営
の育成により経営基盤の強化を図っ
ています。

また、農林水産物を使った特産品
のブランド化を推進しています。

商工業の振興

制度融資の充実や創業支援、新商
品開発支援等により、経済活動の活
性を推進しています。
交通アクセスなど立地条件の優位
性を活かし、企業の誘致と雇用・就
労機会の創出に取り組んでいます。

自然環境との共生

水道ビジョンを策定し、計画的な更
新事業に取り組んでいます。
また、下水道においては適切な維
持管理や合併浄化槽の普及促進に加
え、汚泥を有効活用した有機肥料の
販売促進活動に取り組んでいます。

越前海岸の水仙畑 糠の文化的景
観が国の重要な文化的景観に選定され
るなど、未来に残すべき価値ある景
観の創出・誘導に取り組んでいます。
自然環境の大切さと、生活環境美
化・保全活動の重要性の認識を深め
てもらうため、環境学習の機会を設
け、町民の環境意識の向上を図って
います。

快適な住環境づくり

若者の定住化や多様な世帯の住宅
需要といった地域の特性に合わせて、
町営住宅を計画的に整備していきま
す。北陸新幹線開通後も住民が住み
慣れた地域で安心して過ごせるよう
公共交通の見直しなどさまざまな支
援に取り組んでいます。

観光の振興

何度でも来てもらえるように、名
所や旧跡、特産物など多様な観光資
源を活用し、新しい観光ネットワーク
の構築と周遊・滞在型の観光地づ
くりに取り組んでいます。



6つのまちづくり

4

人と文化を 育むまちづくり



豊かな人間性を育む教育環境の充実を図り、未来を担う子どもたちがのびのび学び、みんなどの未来に夢が描けるまちをつくりまします。
歴史文化の継承活動の活発化を図り、「まちとしての価値」を高め、それを地域に還元することで地域を潤すまちをつくりまします。

豊かな人間性を育む 教育の充実と 環境の整備

就学前の教育や保育を充実し、保護者との連携を強化しています。また、学校教育においては児童・生徒一人一人に対応したきめ細かい指導とボランティア活動による特色ある学校づくりを推進するまちづくりに取り組んでいます。

生涯にわたる 学習社会の充実

ライフステージに応じた多様な学習機会を提供し、自発的な学習活動を支援するとともに、生涯学習施設である公民館や図書館などの機能充実を進め、生涯学習環境が充実しているまちづくりに取り組んでいます。

歴史文化の継承と 芸術文化の振興

地域に伝わる伝統的な歴史文化を継承し、それらの活動を支援するとともに文化財の調査や保存に取り組んでいます。また、芸術・文化団体やサークルなどの活動を支援し、芸術・文化の鑑賞機会や活動の場が確保されているまちづくりに取り組んでいます。



6つのまちづくり

5

住民主体の まちづくり



財政状況の厳しさが増す中、高まる公的サービスニーズに 대응していくことが困難となっています。

これまでの行政主導のまちづくりから住民、各種団体、行政が一体となった協働によるまちづくりへの転換と補完性の原理に基づいたまちづくりを進めます。

住民と行政の協働に よるまちづくり

魅力ある活力にあふれた地域づくりを進めるために、住民一人一人が自らまちづくりを担う住民自治を推進するとともに、町政に幅広く参画できる仕組みを構築しています。

住民の意見を町政に反映していくため、意見交換の場や機会を充実し、行政情報の積極的な公開に取り組んでいます。

共に活躍できる 人づくり、まちづくり

人とのつながりや活躍できる場の形成など、町の暮らしの魅力を広げる取組を推進しています。

学校教育の場においては男女共同参画社会の意識を持ってもらうため、町内の中学2年生を対象に次世代育成セミナーを実施しています。

また、人権問題について理解を深めるため、人権教室などの人権啓発活動に取り組んでいます。



6



効率的な 行政運営による まちづくり

最小限の経費で最大限の効果を引き出すよう、事務事業の集中と選択により、真に必要なサービスを提供し、持続可能な財政運営を行うことが必要です。公共施設の統廃合や行政組織の見直し、さらには定員適正化計画の着実な実行により、将来に負担を残さないまちをつくりまします。

住民の視点に立った 行政サービス

行政手続きがいつでもどこでもできるよう行政手続きのオンライン化を進め、オンライン申請を可能とするマイナンバーカードの取得促進および利便性の周知に取り組んでいます。

チャレンジする 組織改革

職員の人事評価に関し、継続的に評価者及び被評価者に対する研修を実施するとともに必要に応じて評価項目等の見直しを行い、人事評価制度に対する信頼性と評価の精度を高めています。また、公共施設等の統廃合を進め、持続可能な行政サービスの提供に努めています。

効率的な財政運営の 推進

多様化する住民ニーズに的確に対応するために、質の高い行政サービスを展開するとともに財政規模に応じた行政運営に取り組んでいます。また、安定した税収の確保のため、口座振替の推進やスマホ決済を導入し、窓口手続きを不要とする納付環境の構築に取り組んでいます。



目指す町のすがた

よりよい

南越前町を
目指して

町の将来像「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」の実現に向け、「第2次南越前町総合計画」において、6つの基本目標と21の基本施策を掲げています。特に戦略的に取り組むものについて後期基本計画では、「未来づくりプログラム」と位置づけ、計画全体の実施をリードするとともに、将来像と基本目標の達成を目指します。また、SDGs（持続可能な開発目標）を活用することで、「未来づくりプログラム」の最大化を図ります。



未来づくりプログラム



にぎわい

地域のにぎわい
地域固有の豊かな歴史・文化資源の価値を最大化し、受入態勢の整備や情報発信により、観光交流を促進します。魅力ある情報発信により、農林水産業や商業の担い手確保を図ります。

つながり

地域のつながり
多様な世代や立場の方の交流促進により、人が主役の住み続けたい環境を構築します。

ささえる

地域をささえる
交通、自然、住宅、教育環境を支える取組により、住み続けられる豊かな地域を維持します。